

令和3年度別府市人権教育学級閉級式

日 時 令和4年2月17日(木) 11:45～12:00
場 所 別府市役所 5階大会議室 オンラインにて開催

- 1 はじめのことば
- 2 あいさつ(概要)

別府市教育委員会 教育長 寺岡 悌二 (市長代理)

本日は、寒い中、お忙しい中を第40回人権教育学級の閉級式にご参加いただき誠にありがとうございます。

本来ならば、長野恭紘別府市長が皆様にご挨拶申し上げるところですが、どうしても他の公務がありまして祝辞を預かっておりますので代読させていただきます。



〈寺岡教育長〉

令和3年度第40回別府市人権教育学級の閉級式にあたり、受講生されました皆様一言ごあいさつを申し上げます。

受講されました皆さまには、この一年間人権教育学級にご参加をいただきまして誠にありがとうございました。皆さまには人権教育並びに人権啓発に関しましてご理解とご協力をいただき、おかげをもちまして今年で40回を迎えることができました。また、この人権教育学級を支えてくださいました別府市PTA連合会会長の平岡様をはじめ託児室での保育士の皆様、各幼稚園並びに学校関係者の皆様にも心からお礼を申し上げます。

さて、国の方では、平成28年に障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法が成立・施行され、別府市におきましてもあらゆる人権問題の解決と人権擁護に力を注ぎ、市民の幸福が持続可能なまちの実現に向けて取り組んでいるところでございます。

しかしながら、依然として部落差別を助長するインターネット上での書き込み、コロナ感染に伴う偏見等々をはじめ様々な人権問題は後を絶たない状況です。

この人権教育学級では、部落差別問題をはじめとする人権に関する問題をテーマとして学習されていますが、コロナ禍のもとで討議や交流活動が制限される中、それぞれの講演では「人権問題を身近に感じ、正しく理解する機会を得られてとてもよかった。」「他の保護者の方にも聞いてもらいたいくらいよいお話でした。」等の感想が寄せられたと聞いておりますが、受講されました皆様の真摯な姿に心から敬意を表したいと思っております。

21世紀は「人権の世紀」と呼ばれ、別府市におきましても人権教育・啓発のさらなる推進に努め、私たち大人がしっかりと人権感覚を身につけるとともに未来に生きる子どもたちに人権の大切さを伝えていく義務と責任があると思っています。

皆さまにおかれましては、この人権教育学級で学びましたことを別府市の人権のまちづくりに活かされますことを心から祈っています。

結びに、皆さまの健康と、さらなるご多幸をご祈念申し上げ、閉級式のごあいさつとさせていただきます。本当にお疲れさまでした。

令和4年2月17日
別府市長 長野 恭紘
教育長代読

3 一年間のまとめ

◇新型コロナ感染拡大予防のため、参加要請を各園・校より1名とさせていただきました。最終的な一年間の参加延べ人数は252名（ただし、1回目と3回目は新型コロナ感染拡大防止のため中止）でした。

今年度の実施について

- ・コロナ禍のため、各園・校より受講者を1名とし、グループ討議や全体交流を中止して、時間を短縮、1時間半としました。
- ・新型コロナ感染症拡大防止のため、第1回と第3回（差別をなくす市民の集い）を中止しました。
- ・9月以降は、感染状況によって開催方法を工夫し、中止をしなくて済むようにしました。
第4回 DVD視聴 第8回 オンライン開催

◇令和3年度の別府市人権教育学級のアンケート結果をもって一年間のまとめとします。

今年度のまとめアンケートから

集約数 35人/46人

1 別府市のホームページに「人権教育学級」の概要を掲載していますが見たことがありますか。

- 「よく見る」「たまに見る」 44%
- 見たことがない 56%

できるだけわかりやすく講師の意図や講演内容が伝わるよう工夫しました。是非、活用してください。学習を繰り返すことで理解が深まります。また、周りの人にも声をかけていただき、視聴が広がることを願っています。

4

2 来年度は、どんな人権課題を希望されますか。

複数回答

- ・部落差別問題 21%
- ・女性の人権問題 29%
- ・子どもの人権問題 71%
- ・高齢者の人権問題 15%
- ・障がい者の人権問題 41%
- ・外国人の人権問題 18%
- ・医療をめぐる人権問題 41%
- ・さまざまな人権問題 42%

【インターネット12%、性的少数者(LGBT)21%、犯罪被害者3%、人身取引6% など】

人権講座なので、部落差別問題をはじめ様々な人権課題を学習することになりますが、できるだけ受講者の希望に沿えるよう努力していきます。

6

3 学習したことがどのような場で活かされたと思いますか。

複数回答

・学校	18%
・家庭	85%
・地域	68%
・職場	32%
・自己啓発	50%
・その他	0%

コロナ禍の中、「学校で活かす」は、厳しい状況が伺えますが、受講者の皆さんが、家庭や地域をはじめ、いろいろな場で学習したことを活かしているのが分かります。これからも学んだことを周りに広げていってほしいと願っています。

7

4 人権教育学級に参加されての感想をお聞かせください。

〈感想の中から一部を紹介〉

- ものの見方が変わったことが大きなポイントでした。
- 涙が出てしまうほどいい話で考えさせられる話でした。
- 人権教育のお話を聞いて「他人ごと」ではなく「自分のこと」として考え、関わっていくことの大切さを再認識しました。
- 人権問題を身近に感じ、正しく理解する機会を得られてとてもよかったです。
- 差別を受けたきた当事者の思いに触れ、無知の怖さを知りました。
- 大人になって意識しなければ学ぶ機会もないことであると思います。学びのチャンスをいただいたこと、ありがたいと思っています。
- 他の保護者の方にも聞いてもらいたいぐらいとてもいい話でした。

…など、「受講できてよかった」「これからの生活に活かしていきたい」という感想がほとんどでした。アンケートの結果を踏まえ、来年度も充実した人権教育学級になるよう工夫改善に努めます。

8

< 1年間のお礼 >

この一年間、ご多用の中、また、コロナ禍の中、令和3年度の人権教育学級にご参加いただき、誠にありがとうございました。年間を通して最終的には、延べ252名の方にご参加いただきました。

(平均にすると一回につき、42人の方に参加をいただいたこととなります。)

学習会の進め方としては、コロナ禍の中、班討議や交流活動を制限し、講話中心の運営としましたが、ご協力いただいたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年度も、万障繰り合わせて一人でも多くの方にご参加いただき、人権についてみんなで考えていければと願っています。この一年間、本当にありがとうございました。

4 終わりのことば